

市長年頭あいさつ

人口減少に負けない 活力あるまちに



新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさんには健やかに令和2年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろから市政運営に対しさまざまな形で、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市の基幹産業である農業は、干ばつや高温などによる作物への影響が心配されましたが、主要作物の水稲は、良食味がたくさん収穫され、リンゴなどそのほかの作物につきましても総じて良好な作柄となり、本市の豊富な農産物を全国のみなさんに安定してお届けすることができました。特に「ななつぼし」や「ふっくりんこ」「ゆめびりか」などの深川産米は、ふるさと納税の返礼品としても大変好評をいただいております。生産者のみなさんと関係機関のみなさんに心から敬意を表する次第であります。

一方、わが国の農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。本市では、人口減少や少子高齢化による労働力不足に対応するため、外国人労働者の就労について調査研究を進めているほか、コメの国内需要の減少に対応するため、ベトナムなどへ輸出し海外での販売事業を展開するなど、深川産米の消費拡大に取り組んでいるところです。さらには、地域資源を活用した主力商品の「ふかがわシールド」は発売から5年目を迎え、ラインアップに辛口バージョンの「ドライ」を加え販売促進に努めたほか、新たに整備した農畜産物処理加工施設で「ふかがわポーク」を原料としたハムやベーコンなどの加工品の製造を開始するなど、特産品の開発や産業の創出、雇用の拡大など地域経済の活性化にも取り組んでいます。

また、平成30年から計画を進めてきた深川保育園と一已保育園を統合した「新中央保育園」がいよいよ本年4月に開園となります。併設する子育て支援センターでは、親子の交流事業や子育ての相談・援助などを実施するほか、季節や天候に関係なくのびのびと遊べる乳幼児向け遊びのひろば「あみあみ」を設け、子どもたちがより良い環境で健やかに成長していけるよう、子育て支援に取り組んでいきます。

さらには、老朽化や耐震性能の不足など多くの課題を抱える市役所庁舎は、市民のみなさんにご協力をいただく中で「深川市新庁舎建設基本計画」を策定し、現庁舎敷地に新たな庁舎を建設することになりました。今後、設計業務に入りますが、引き続き市民のみなさんに意見を伺いながら、災害に強く市民に親しまれる庁舎の実現に向け取り組んでいきます。また、深川市立高等看護学院についても改築を進め、施設の安全性確保や修学環境の整備を図り、地域医療を支える看護師の確保に取り組んでいきます。

こうした取り組みを進めつつ、定住自立圏を構成する北空知4町とも観光分野などさまざまな場面でより一層連携を深めながら、今後も地方創生の各種施策を着実に実行し「人口減少に負けない元気なまち」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、みなさんの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民のみなさんにとって、健康で充実した一年となりますことを祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

深川市長 山下 貴史